

調査へのご協力のお願い

拝啓 仲冬の候、貴殿におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、「身体拘束ゼロへの手引き」が各自治体に配布され、身体拘束解消に向けての取り組みが成されるようになった現在、当院ではカテーテルの管理のためやむを得ず身体拘束を使用している事と思います。また当院に身体拘束解除についてのマニュアルはないため、看護師により*試験解除の判断や時期は異なり抑制が長期化している可能性も考えられます。

つきましては、身体拘束期間短縮に反映させたいと考え、当院病棟の看護職の皆様を対象に質問紙による調査研究を計画致しました。

なお、この研究は、本院の倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可のもとに実施するものです。質問紙は無記名であり、データは統計的に処理され施設、個人が特定される事はございません。回答頂いた質問紙の投函を持って研究に対するご協力の承諾を得たものとさせていただきますことをご了承ください。

*試験解除：今まで装着していた身体抑制を初めて外すこと。

敬具

- 1、**調査目的**：身体拘束期間短縮を妨げている可能性のある看護師の試験解除に対する認識と行動を明らかにする
- 2、**調査対象**：北海道医療センター一般病棟、ICU、GICU看護師
- 3、**調査内容**：
 - ①経験年数、性別
 - ②使用している抑制物品の種類
 - ③身体拘束の必要性について
 - ④身体拘束患者との関わりで生じる不安
 - ⑤身体拘束試験解除の経験
- 4、**調査協力について**：
 - ・本調査への協力は自由意思によるものであり強制するものではありません。
 - ・得られたデータは研究以外の目的以外には使用いたしません。使用後にデータは破棄致します。以上のことをお約束いたします。
なお、本調査結果は関連学会などで発表させていただくことをご了承ください。
- 5、**回答形式**：質問紙は全4ページで回答には約10分を要します。
回答形式は選択式で一部は記入式です。
- 6、**回答方法**：ご回答いただけましたら個別封筒に入れ厳封し、指定の回収袋まで提出をお願い致します。

何かご不明な点がありましたら、以下の研究者にお知らせください。

研究実施者：北海道医療センター3-4病棟

住田 真乙